

編集後記

★ 先日、久しぶりに京都を散策する機会がありました。清水寺、伏見稲荷大社、金閣寺、嵐山など代表的な観光スポットを回りました。たいへん驚いたことに平日にもかかわらず、想像以上の観光客がおられ、どこもたいへんにぎわっており、場所によっては大混雑の状況でした。特に海外からの観光客、修学旅行の生徒さんたちが多く、改めて京都の観光地としての認識を新たにしました。私は広島市の中央部、原爆ドームや平和記念公園の近くに住んでおり、土日などは愛犬の散歩に近所を歩きますが、欧米を中心とする海外からの人々や平和教育に來られた修学旅行生を多く見かけます。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の終息に伴い、様々な社会活動が活発になっていることを実感いたします。

★ 広島の観光地といえば、原爆ドーム、平和記念公園、少し足を延ばして大島居で有名な日本三景の一つ安芸の宮島でしょう。特に平和記念公園周辺は市内中心部にも近く、多くの人々が訪れます。最近では2016年に当時の米国大統領・オバマ氏、昨年はG7で世界各国の首脳が訪れました。平和記念公園の中にある広島平和記念資料館は2017年と2019年にリニューアルされ、貴重な被爆資料や遺品、証言などが展示され、世界の人々に核兵器の脅威や非人道性を訴え続けています。多くの先生方は来館されたことがあるのではないかと思います。もしまだであれば是非訪れてください。様々な思いが心に生まれると思います。

★ 本年10月11日にノルウェー・ノーベル委員会は今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与すると発表しました。フリドネス委員長は受賞理由を「核兵器のない世界実現を目指して努力し、核兵器が二度と使われてはならないのだと目撃者の証言から示したこと」と述べています。核兵器の廃絶は世界の人々の共有した願いであることは間違いないですが、その現実性はたいへん複雑で、議論も多く様々な意見があることも承知しております。しかしながら現在の不安定な世界情勢の中、今回の日本被団協のノーベル平和賞受賞は、今一度「平和とは」、「核兵器とは」を考えるよい機会であることは間違いないようです。



Osgood, Robert Bayley の故郷
Salem (米国)

生田義和 画
2024-12

★ 皆さんは原爆ドーム横にある「広島おりづるタワー」をご存じでしょうか。広島の物産館、カフェ、屋上展望台などを含む複合施設です。屋上の展望台からは原爆ドームを上から眺めることができ、下から見る原爆ドームとは全く違った雰囲気を感じることが出来ます。また、12階のおりづる広場では自分で折った折り鶴を「おりづるの壁」に投入することが出来ます。

高所が苦手な私はやや緊張しますが、自分が折った折り鶴を平和の気持ちを込めながら落としていきます。その多くの折り鶴が建物の壁を作ることになります。一度体験してください。広島県民は小さい頃から折り鶴を折る機会が多くあります。広島県外の友人たちと訪れて折り鶴を折る機会もありますが、意外と折り方を忘れている、あるいは元々知らない方も多いのに驚きます。先生方は折り鶴を折ることが出来ますか？

(安達伸生)

顧問	林 浩一郎	石井良章	中村孝志	高岡邦夫	長野 昭	四宮 謙一
	岩本幸英	星野雄一	越智光夫	遠藤直人	大川 淳	
編集	松田秀一	竹下克志	安達伸生	稲葉 裕	吉井俊貴	

臨床雑誌	整形外科	75巻・13号(12月号, 第914冊)	2024年12月1日 発行
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42-6		小 立 健 太
印刷所	東京都江東区亀戸七丁目2-12		三報社印刷株式会社

発行所	〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6	編集	TEL 03-3811-7619	FAX 03-3811-8660
株式会社 南江堂	https://www.nankodo.co.jp/	営業	TEL 03-3811-7239	

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036